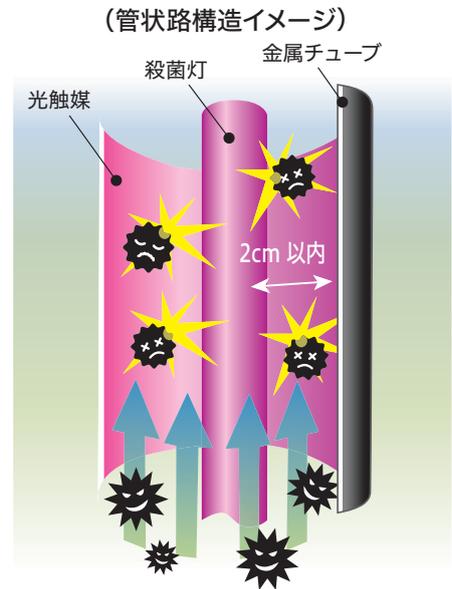
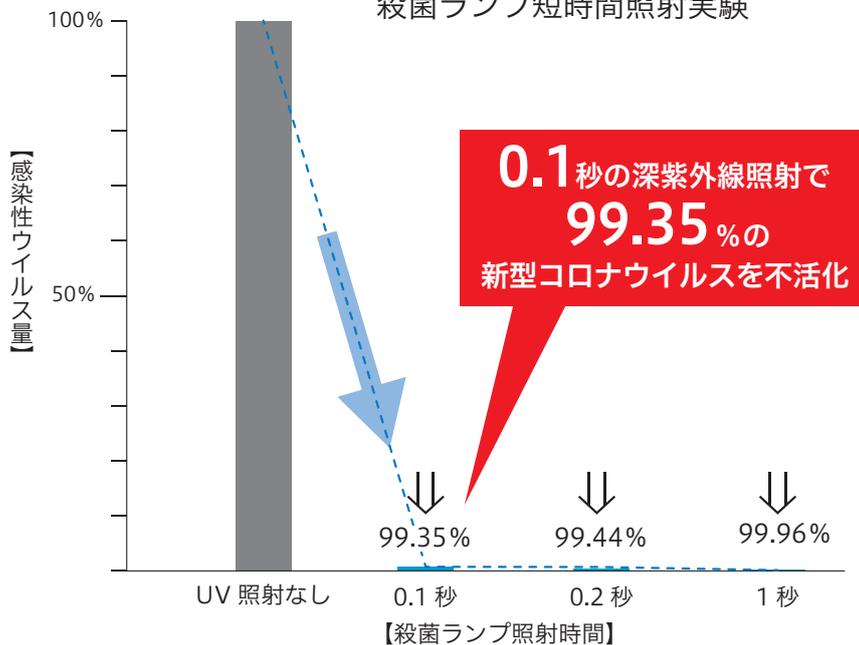


アイクォーク製リアクター 新型コロナウイルス実験

アイクォークの空気浄化装置には独自の管状路構造リアクターを採用しています。この構造により装置内に取り込んだすべての空気は管状内に配置された殺菌ランプの近傍を通ることになります。この管状路構造を再現した実験機により新型コロナウイルスへの有効性を検証しました。



新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) への
殺菌ランプ短時間照射実験



測定：山口大学（共同獣医学部獣医微生物学教室早坂大輔教授・下田宙准教授）

●試験の結果

アイクォーク製リアクターと同じ構造の装置を使った殺菌ランプの短時間照射試験の結果、ウイルスの不活化（感染性を失わせること）率は、0.1秒照射後に99.35%、0.2秒照射後に99.44%、1秒照射後に99.96%となり、新型コロナウイルスによる有効性を確認しました。

※実験はリアクターを再現した装置による実験結果であり、実使用環境での効果を示すものではありません。